

予算決算委員会

主な質疑・討論

議案第31号

平成27年度田原市一般会計予算

問 それぞれの基金の運用方法は。

答 現在の金利情勢は超低金利状態にあるため、長期間の運用は不利益となる。1年程度の定期預金として運用している。

問 市ホームページの更新が遅いが、改善策は。

答 現在、広報秘書課が更新しているが、担当課が直接入力でき、迅速な情報を発信するためのシステムの再構築を行う。また、情報量が増加し、複雑になっていることから、利用者が必要な市政情報をわかりやすく、探しやすいように見直す。

問 田原市における振り込み詐欺による被害状況、予防策は。

答 平成26年中、振り込み詐欺による被害届が警察に1件あった。JA

3月10～12日
3月16日
付託議案11件

愛知みなみの窓口で被害を未然に防いだ事例が1件あった。同報無線や全世帯へのパンフレット配布などで注意喚起をしている。

問 地域コミュニティ団体への防犯カメラ設置に対する補助の考えは。

答 自治会等が地区公民館や集会所等に設置する場合を想定している。また、公共性が高いと認められる空間等に設置する場合も補助対象となる。

問 ケーブルテレビの現在の整備状況及び加入状況は。

答 平成14年12月に開局して以来、平成16年度に旧赤羽根町エリア、平成18、19年度に旧渥美町エリアが整備され、現在、市内全域において整備されている。また、ティーズへの加入率は73・4%であり、特に渥美地域の加入率が高い。

問 渥美半島観光ビューローの事務所を、市役所ではなく、駅やサンテパルクなどに移転する考えは。

答 将来的に移転の考えはあるが、経営基盤や組織体制等が不安定な状況であり、現状では、商工観光課に近い方が効果的な運営が図れる。今後、観光客か観光事業者、どちらを重視した方が良いかを踏まえ、検討していく。

問 田原市に観光で来る方への災害防止に対してのアピール、安心安全の取り組みは。

答 観光客に対する防災・安全対策は重要で、浸水危険地域に一時避難場所の整備や、見やすい誘導看板を設置する道標プロジェクトを進めている。また、サーファーなどを対象に避難訓練を行い、作成中の観光パンフレットにも津波避難場所を明記しPR等を図っていく。

問 高齢者福祉タクシー・バスの利用状況は。

答 助成券の交付率は60%。利用状況は、バス・電車券の利用率が65・6%、タクシー券が41・8%である(平成25年度)。



滝頭公園野球場 スコアボード

問 滝頭公園野球場の電光スコアボードシステム整備工事費として、7000万円が予算計上されているが、整備の必要性は。

答 昭和61年から使用しており老朽化が進んでいる。大きな大会に利用できる施設として、新たに電光スコアボードに更新する。

問 耕作放棄地の面積は、どのくらいあるか。

答 農業委員会が実施した平成26年度調査では、田が224ha、畑が約218haで合わせて、約442haが耕作放棄地であるが、20年の調査と比べて減少している。